

# あいち農産物生産流通レポート

平成30年10月号

	ページ
◎ 情報サロン ・ シソサビダニが媒介するシソモザイク病の総合的な 防除技術を開発 (農業総合試験場)	1
◎ 地域トピックス ・ ハウスみかん、出荷中！ (知多農林水産事務所)	3
・ あいち花フェスタ2018inデンパークを開催します (西三河農林水産事務所)	4
◎ 東日本情報 ・ 首都圏アンテナショップでのGAP農産物の取組 について (東京事務所)	5
◎ 西日本情報 ・ あいちの小麦「きぬあかり」「ゆめあかり」普及推進 プロジェクトチームについて (園芸農産課)	7
◎ フラワーページ ・ 愛知県産花きにおける消費宣伝の取組 (愛知県経済農業協同組合 連合会東日本営業所)	8
◎ 青果 ・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し	10
◎ 花き ・ 切り花・鉢花の10月の見通し(県内市場)	22

## 内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。  
それぞれの情報につきましては、

### 【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

### 【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」  
<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>  
名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

### 【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」  
<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

### 【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」  
[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?\\_toGL08020101\\_](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_)

を御覧ください。



## シソサビダニが媒介するシソモザイク病の総合的な防除技術を開発

農業総合試験場

### 1 はじめに

本県のアオジソ産地では、20年以上前からシソモザイクウイルス(*Perilla Mosaic Virus*: 以下、ウイルス)によるシソモザイク病が経済的に大きな損害を与えてきました(図1)。本病の対策には媒介虫であるシソサビダニ(*Shevtchenkella* sp.)の防除を行うことが重要ですが、体長が0.2mm以下と目に見えない大きさのため、知らないうちにほ場内に侵入し増殖・拡散します(図2)。農業総合試験場では、この防除技術開発に取り組み、防除マニュアルを作成しましたので紹介します。



図1 シソモザイク病



図2 シソサビダニ

### 2 発生概略

シソサビダニとシソモザイク病の発生消長が明らかではないため、発生開始時期や防除適期の把握が求められていました。そこで、野外と施設内におけるシソサビダニの寄生頭数、シソモザイク病の発病推移を調査しました(図3)。

シソサビダニは、4月頃から野外のシソの葉で発生し、7月から10月に増殖、拡散します。6月から10月末頃までが施設内への侵入を警戒する時期になります。

シソモザイク病は、野外では6月頃から感染株が確認されます。野外の感染株から

ウイルスを獲得したシソサビダニが、風により分散、施設内へ侵入してまん延します。極めて低密度のシソサビダニでもシソモザイク病は発生します。また、施設内では温度が確保されるため、11月末まで発生を警戒する必要があります。

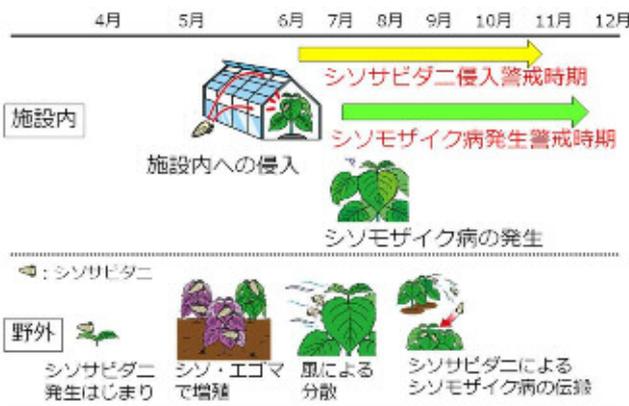


図3 シソサビダニ・シソモザイク病の発生概略

### 3 LAMP 法で簡易に迅速診断

現場にて、シソへのウイルスの感染の有無と、シソサビダニの有無を診断する方法として LAMP 法を利用した診断技術を開発し、これらの発生状況を簡易かつ迅速に把握することが可能となりました。

ウイルスの診断では、感染が疑われる葉を 10 回程度突いた針を反応液に浸し、反応液を 1 時間保温 (63℃) するだけで診断できます(図 4)。

シソサビダニは目に見えないため、葉上のダニ類をまとめて採取し診断します。LAMP 法により、シソサビダニの有無を検出することができます。



図 4 上：LAMP 法ウイルス診断の現場  
下：反応液の色でウイルスを迅速に判定  
(水色：陽性、無色：陰性)

#### 4 シソサビダニ防除のための農薬登録

シソサビダニへの効果が期待される薬剤について、アオジソの生産量の多い高知県と協力し、防除効果を検討しました。その結果、マッチ乳剤 (ルフェヌロン)、アフーム乳剤 (エマメクチン安息香酸塩)、アニキ乳剤 (レピメクチン)、サンマイトフロアブル (ピリダベン) の 4 剤がシソのシソサビダニに対する農薬として登録されました。

#### 5 防除マニュアルの作成

上記の試験結果を基に、シソサビダニ・シソモザイク病の防除マニュアルを作成しました。主要な防除対策の概要は以下のとおりです。

##### (1) 野外のシソモザイク病感染株を除去

施設周辺のモザイク病感染株は見つけ次第、所有者の許可を得て除去または防除。

##### (2) 健全苗を使用する

育苗時から防除を実施し、定植時には健全苗を使用。

##### (3) シソサビダニをほ場内に入れない

開口部、サイド、天窓に防虫ネット (目合い 0.6mm 以下) を設置する。

##### (4) ほ場内の感染株を抜き取る

ほ場内の感染株は株ごと抜き取り、その場でビニル袋に入れ密閉処分。

##### (5) 感染株を確認したら、すぐ防除

アニキ乳剤 (収穫前日) かコロマイト乳剤 (収穫前日) で防除を実施。通常防除に加え、総使用回数の範囲内でこれら農薬の散布間隔が 1 か月を超えないように散布。

#### 6 おわりに

シソモザイク病を防除する上で、単独の対策のみでシソサビダニの施設内への侵入と増殖を抑えることは難しく、防除マニュアルの 5 つの防除対策を組み合わせた総合的な防除が重要です。このことにより、シソモザイク病の被害を抑えることが可能となり、アオジソ栽培農家の安定生産が期待できます。

「愛知県版シソサビダニ・シソモザイク病防除マニュアル」は「あいち病害虫情報」Web ページ (<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>) 「資料集」内で公開しています。

## ハウスみかん、出荷中！

知多農林水産事務所

知多半島は、西は伊勢湾、東は三河湾に面し、緑あふれる土地柄です。知多半島の南部・美浜町にある「あいち知多かんきつ出荷組合」では、夏のハウスみかんの「みはまっこ」、「さわみっこ」、冬のマルチ栽培みかんの「あまみっこ」を中心に、かんきつ類の集出荷・販売を行っています。

### 1 「みはまっこ」、「さわみっこ」について

「みはまっこ」は、甘味にこだわった高級ハウスみかんとして定評があり、果皮の紅さや少しぷくっとした姿を特徴としています。本年は、栽培面積や生産者の減少により、前年に比べて出荷量が「やや減」となりましたが、管内での作付面積は3.1ヘクタール、収穫量は約150トンで、全体の6割が県内へ、3割が東京に出荷されています。出荷時期は6月上旬から9月下旬です。平成13年には高品質果実の生産が認められ、第31回日本農業賞優秀賞を受賞したほか、市場関係者からも高い評価を得て、贈答用として人気です。



「さわみっこ」は、甘い「みはまっこ」との差別化を図ったハウスみかんで、ほど良い酸味が残し、甘味と酸味のバランスのとれた味が特徴です。緑色が少し残った見た目ですっきりとした爽やかな味わいが人気です。



集荷・選別される「みはまっこ」

ハウスみかんの選別と出荷を行う共選場、集荷場では、朝早くから出荷作業が行われ、次から次へと流れてくるみかんは、人の手によって傷の有無等が確認され、サイズごとに振り分ける選果機へ送られます。その後、

サイズ別にセットされた箱の中に、自動でみかんが入っていきます。数人のスタッフがてきぱきと箱をセットしながら、みかんの状態を見極め、箱詰め作業を行っています。

### 2 その他のかんきつ類について

「あいち知多かんきつ出荷組合」は、ハウスみかんの「みはまっこ」、「さわみっこ」以外にも、4月から5月、10月の時期を除いて、かんきつ類の集出荷をしています。「極早生温州」、「早生温州」、「中生温州」、「普通温州」、「青島温州」、「あまみっこ」、「ちたポン」、「不知火」、「はるみ」など、年間を通してかんきつ類を取り扱い、豊かな自然のもと生産者が丹精込めて栽培した美味しい果実を消費者のもとへ届けています。

## あいち花フェスタ2018 inデンパークを開催します

西三河農林水産事務所

「あいち花フェスタ」は、全国一の花き産出額を誇る「花の王国あいち」をPRし、花に親しみ、花のある暮らしを提案する県民参加型のイベントです。今年度は平成30年11月22日（木）から25日（日）に安城市のデンパークで開催します。

### 1 あいち花フェスタ2018 inデンパークのPR

「あいち花フェスタ2018 inデンパーク」の開催を広くPRするため、安城市中心市街地拠点施設「アンフォーレ」(安城市御幸本町)のエントランスに、地元の花で装飾したカウントダウンサインを設置しています。

また、8月3日（金）から5日（日）に開催された「安城七夕まつり」では、オリジナルデザインのうちわを配布しました。さらに、11月10日（土）、11日（日）に開催されるJAあいち中央の「JAまつり」のステージイベントなどでもPRを行います。



カウントダウンサインの設置



安城七夕まつりでのPR

### 2 あいち花フェスタ2018 inデンパークの開催概要

(1) 期日 平成30年11月22日（木）から25日（日）

(2) 場所 安城産業文化公園デンパーク

安城市赤松町梶1

電話：0566-92-7111

(3) 主な内容

ア 展示

- ・花の装飾展示（主催者、生産者団体等による地域の特色を盛り込んだ花の装飾展示）
- ・品評会展示（県内花き生産者が育てた切花・鉢物を一堂に展示）
- ・安城市内の各小学校の参加による絵画や花の展示

イ 催事

- ・ステージイベント（生け花の実演や地元で活躍する団体のステージなど）
- ・花の体験講座（ブーケづくり、苔玉づくりなど）
- ・花の栽培施設を巡るツアー
- ・花き・農産物・地元特産品等の即売、グルメブースなど



花の装飾展示(イメージ図)

## 首都圏アンテナショップでのGAP農産物の取組について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

8月下旬から9月にかけて、GAP農産物の紹介・販売イベントが、農林水産省の呼びかけにより首都圏の県アンテナショップ6か所において開催されました。アンテナショップでは、ポスターの設置や県の認証制度と併せた紹介のほか、併設されたレストランでの提供などGAP浸透に向けた取組が行われましたので紹介します。

### 1 農業でGAP in アンテナショップ

今回のイベントは、消費者に対するGAPの理解度向上を目的として、農林水産省の呼びかけにより開催されたもので、宮城県、福島県、三重県、滋賀県、島根県、熊本県のアンテナショップが参加しました。開催期間中は、農林水産省が呼びかけた「農業でGAP in アンテナショップ」のキャッチフレーズの下、それぞれのアンテナショップで各県産GAP認証取得農産物の販売フェアなどが行われました。



店舗に貼られたポスター

### 2 まずは「県認証」としてGAP農産物を定着

島根県では、同県版のGAP認証制度で認証を受けた農産物を、「安全で美味しい」を兼ね備えた「美味しまね認証」農産物として売り出しており、県独自認証マークの使用許可などを行っています。アンテナショップでも、「県認証」という言葉を前面に出し、GAP農産物の販売、定着を図っていました。

担当者に話を聞いたところ、「GAP農産物」という名前より「県認証農産物」という名前の方が手に取られやすいとのことで、GAP表示より「〇〇県認証」と書いてある方が、品質が保証された商品として、安心感を持たれるようだったとのことでした。GAPは世界共通の認証制度ですが、無理にGAPの言葉を全面に出さず、まずは「□□認証(△△GAP)」などの表示で、売り出すことも良いかもしれません。



県認証を前面に出した農産物

### 3 料理を通してGAP農産物を提供

アンテナショップにはレストランを併設する店舗もあり、直接GAP農産物を販売・PRするのではなく、レストランの食材としてPRしているところもありました。

三重県のアンテナショップ併設型レストランでは、日頃から地元農産物の提供に力を入れており、今回のフェアの特別メニューに対し、産地や栽培方法にこだわるお客からGAPについての質問も多くあるとのことで、GAPの理解促進に手応えを感じているようでした。

一般の飲食店の中にも、食材の産地や栽培方法、各種認証にこだわる店は多く、これら飲食店の発信力を借りたPRが、今後のGAPへの理解浸透や盛り上がりを支える柱になっていく可能性もあります。



GAP農産物を使ったメニュー表と実際の料理

#### 4 GAP推進に向けた課題

GAP認証は、東京オリンピック、パラリンピック（以下、オリパラ）の選手村などにおける食材調達要件とされることから、オリパラに絡めた説明を行い、消費者が関心を持つきっかけとする店舗もありました。一方で、アンテナショップでの聞き取りでは、GAPへの理解や認識がまだ浸透していない印象も受けました。最近では、アレルギー問題やハラールなど、異なった体質や宗教観への理解が進み、食材に配慮する考え方が浸透しつつありますが、GAPについても「オリパラで国産食材を提供するために必要な認証」など消費者にもわかりやすい説明を足がかりに、食品安全や環境保全等の生産管理工程への理解を進める必要があるかもしれません。

また、ある店舗の担当者からは、GAP農産物は小規模な店舗向けの供給なら問題ないが、量販店やある程度の規模の飲食店向けの対応は難しいとの意見もありました。GAPは、生産現場での合意形成のしやすさと付加価値が創出可能な点から、個人販売の意欲ある生産者では比較的取り組みやすい制度です。一方、出荷量の多い大きな部会組織では、GAP導入の合意形成や実施状況の確認には多くの時間と労力が必要となり、GAPへの取組が難しくなります。このため、大規模産地(部会)の確保が進まず、実需者が要望する安定供給が難しいことが販路開拓の課題となっています。



個人販売のGAP農産物が多い某県のアンテナショップ

各県のアンテナショップのGAPへの取組は、まだ試行錯誤の段階といった印象ですが、店舗の販売員の方は「説明すれば理解される感触」を持っていました。本県でも産地でのGAP導入を進めていくと同時に、消費地での販路や連携先の確保、消費者への説明機会づくりを進めていくことが重要と思われます。

## あいちの小麦「きぬあかり」「ゆめあかり」 普及推進プロジェクトチームについて

園芸農産課

「きぬあかり（日本めん用）」と「ゆめあかり（パン・中華めん用）」は、愛知県が開発した小麦品種です。これらを「あいちブランド」として普及推進し、一層の地産地消を進めるために、実需者団体等と『あいちの小麦「きぬあかり」「ゆめあかり」普及推進プロジェクトチーム』（以下、チーム）を立ち上げ、平成25年度から活動しています。

### 1 チームの概要について

#### (1) 構成員

愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県製粉協会、愛知県製麺工業協同組合、名古屋市製麺協同組合、愛知県麺類食堂生活衛生同業組合、愛知県きしめん普及委員会、NPO食・尾張プロジェクト、愛知県菓子工業組合、愛知県パン協同組合、愛知県

#### (2) 所掌

- ア 「きぬあかり」及び「ゆめあかり」を使用した新商品等の開発に関すること
- イ ホームページ等による情報発信に関すること
- ウ ブースターの育成に関すること（平成30年度で終了予定）
- エ PR資材の作成・貸出等に関すること
- オ その他、「きぬあかり」及び「ゆめあかり」の普及拡大のために必要な事項に関すること

### 2 チームの活動内容

#### (1) シンボルマークの作成・活用

「きぬあかり」及び「ゆめあかり」を使用した商品に貼付してPRに活用することができます。愛知県内に住所、居所又は所在地を有する方が当課に使用を申請し、認められれば無料で使用できます。御希望の方は、以下のURLから要領・様式をダウンロードし、必要事項を記入の上、御郵送ください。



登録商標  
第5667486号



商標登録出願中

「きぬあかり」 <http://www.pref.aichi.jp/engei/kinuakari/symbol.html>

「ゆめあかり」 <http://www.pref.aichi.jp/soshiki/engei/300220yumeakari.html>

【郵送先】 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

愛知県農林水産部 園芸農産課 稲・麦・大豆グループ

#### (2) さらなるPRに向けて

「きぬあかり」と同様に「ゆめあかり」のホームページも今後、整備していきます。加えて、facebookなどSNSもこれまで以上に活用し、PRします。構成員それぞれもシンボルマーク等を活用し、イベント等でPRしていきます。

## 愛知県産花きにおける消費宣伝の取組

愛知県経済農業協同組合連合会東日本営業所

### 1 愛知県の花き生産について

愛知県は、農林水産省が統計を取り始めた昭和 37 年から平成 28 年現在まで、花きの産出額が連続して全国第 1 位となっています。きく（産出額全国 1 位）の生産が代表的ですが、その他にもバラ（同 1 位）やカーネーション（同 2 位）など様々な品目で全国トップクラスのシェアを誇っています（表 1）。

愛知県産の花きは生花店やスーパーの店頭には並べられ、また冠婚葬祭のあらゆる場面で使用されています。ところが、それだけ消費者の目に触れているにもかかわらず、花には産地表示の制度がないため、愛知県が花きの大産地であることはあまり知られていません。

そこで J A あいち経済連では、関東のスーパーにおいて消費者に愛知県産花きを P R する機会を作ることに取り組んでいます。

表 1 主な花き品目の産出額

品目	県産出額	全国順位	シェア
きく（切花）	235 億円	1 位	34.0%
バラ（切花）	26 億円	1 位	13.7%
カーネーション（切花）	19 億円	2 位	15.1%
洋らん（鉢物）	63 億円	1 位	18.9%
観葉植物（鉢物）	39 億円	1 位	34.5%

「よくわかるあいちの農業 2017」より（データは平成 27 年）

### 2 関東での消費宣伝の取組

現在 J A あいち経済連では、関東のスーパーで愛知県産花きを使用したフラワーアレンジメント教室を開催しています。花きはどのように生産されているのか、なぜ愛知県は花き生産が盛んなのか、どんな花きを作っているのかなどを説明し、愛知県の花き生産に興味を持ってもらうよう取り組んでいます。また、普段から花きを購入している消費者だけではなく子供にも花きに触れてもらうことで、将来的な花きの購入向上につなげていきたいと考えています。



フラワーアレンジメント教室の様子



作成したアレンジメント

# 愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ±1%台以下  
 わずか : ±2%台  
 やや : ±3～5%台  
 かなり : ±6～15%台  
 大幅 : ±16%以上

## ○ 名古屋中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	502	324 (65%)	206	228	三重 (35%) — —
30年見通し	650	450	210	230	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知及び三重からはほぼ全量を入荷する。今後入荷が本格化する露地物は前年に比べて1週間ほど早く、生育良好で大玉傾向。9月の台風の影響は、愛知では少ないが、三重では若干被害が見られ、入荷量が例年より減少する見込み。強風により擦れ果が発生し、下級品も増えるとみられる。入荷量は少なかった前年より大幅に上回り、価格は前年並となる見込み。</p>			<p>品質面では、大きな問題点等はなく、引き続き軟果の排除など、選果・選別の徹底をお願いしたい。                      また、高齢化等に伴い、生産量は減少傾向となっているが、消費者への安定的な供給のため、出荷量の維持をお願いしたい。</p>		

## ○ 東京都中央卸売市場（品目：次郎柿）

	入荷量 (t)		卸売価格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		愛知産	
29年実績	1,659	1,297 (78%)	245	234	静岡 (21%) 岐阜 (1%) —
30年見通し	1,900	—	250	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知中心に静岡などから入荷する。愛知の生育は平年よりわずかに早い順調で、玉肥大も良好。10月下旬から11月上旬にかけてピークを迎え、12月初旬までの入荷を見込む。                      台風の影響が懸念されるも、入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>			<p>「りんご」「みかん」「なし」など競合する果実が豊富な時期にあたる。果実全体の販売環境が厳しい中で、いかに安定した品質の「かき」を消費者に提供できるのかが重要となる。このため、選果選別を徹底し、予約販売に向けて産地の出荷動向などの確かな情報が求められる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の10月の見通し

名古屋市中央卸売市場

※グラフは白抜き箇所が見通しとなります。

9月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	36,432	202	207	193	206	北海道 42%	
	26年	39,598	179	194	176	163	長野 21%	
	27年	38,706	216	234	216	192	茨城 8%	
	28年	33,600	284	276	291	274	群馬 7%	
	29年	37,656	185	183	171	198	青森 5%	
	5ヵ年平均	37,198	213	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	34,700	228	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長野を中心に入荷する。北海道を主産地とする根菜類は天候不順と高温、なす等の果菜類は台風被害と高温の影響で入荷減となる見込み。長野や群馬などが主産地の葉菜類は順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は高値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
	だいこん	25年	2,275	114	121	95	124	青森 39%
		26年	2,542	77	90	84	64	北海道 38%
27年		2,469	95	106	106	80	新潟 11%	
28年		1,784	168	156	172	181	愛知 5%	
29年		2,212	85	80	72	112	岐阜 5%	
5ヵ年平均		2,256	104	108	104	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
30年見通し		2,000	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道を中心に入荷する。前年が単価安だったことから、作付面積は若干減少している。また、夏場の高温もあり、入荷量は平年より少なくなる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
にんじん		25年	2,647	127	136	125	123	北海道 97%
		26年	2,634	98	111	106	86	青森 2%
	27年	2,735	119	126	122	115		
	28年	2,027	266	304	292	228		
	29年	2,865	90	98	83	88		
	5ヵ年平均	2,582	133	139	140	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	2,100	200	200	200	200		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に、後半は一部青森からも入荷する。前年は入荷増・単価安となったが、本年は主産地の北海道で6～7月の長雨や夏の高温など悪条件が続き、平年と比べても入荷量が大きく減少する見通し。入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	141,453	220	225	206	226	北海道 27%
	26年	146,886	192	206	189	182	長野 15%
	27年	142,190	237	258	242	214	茨城 14%
	28年	129,927	316	309	321	315	群馬 10%
	29年	139,763	201	193	181	229	千葉 9%
	5ヵ年平均	140,044	232	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	138,000	260	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
9月は台風や地震による物流の途切れで 入荷が不安定となり価格が上がった。加えて 月末の台風24号の来襲により、直近への 影響はもとより長期的な不安感が増している。 品薄感から高値基調が予想される。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安 値となった前年を大幅に上回る見込み。							
だいこん	25年	13,910	105	112	86	112	北海道 32%
	26年	14,289	72	89	74	58	青森 30%
	27年	14,255	86	104	89	68	千葉 23%
	28年	12,467	149	144	151	150	茨城 8%
	29年	12,451	77	73	61	97	栃木 2%
	5ヵ年平均	13,474	97	104	91	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	12,500	85	95	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道、青森、千葉からの入荷が中心と なる。各産地ともこれまで軟腐病や干ばつ などの声は聞かれるも生育は概ね順調。入 荷は平年を下回るも堅調で、中旬以降、産 地が出揃い価格は平年を下回る。 入荷量は平年を下回るも前年並となり、 価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	25年	8,738	126	131	121	126	北海道 93%
	26年	9,276	90	101	93	80	中国 6%
	27年	9,125	116	120	117	111	青森 1%
	28年	7,838	261	260	263	260	
	29年	9,057	88	89	82	92	
	5ヵ年平均	8,807	133	137	132	130	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,500	190	190	190	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
北海道からの入荷が中心となる。前年の 安値展開で作付面積が減る中、天候不順に よる小玉傾向も入荷量を減らす原因となっ ている。潤沢な入荷だった前年とは対照的 に、高値が見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年、平年ともに大幅に上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

9月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうとう	25年	4,042	67	76	51	81	長野 92%
	26年	4,107	55	80	56	46	茨城 6%
	27年	3,787	85	92	113	69	北海道 2%
	28年	2,899	152	122	148	176	
	29年	4,318	55	54	42	75	
	5ヵ年平均	3,831	78	81	75	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,800	80	90	80	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、一部は茨城などから入荷する。9月時点の長野は順調な入荷状況となっており、10月も引き続き順調な入荷が予想される。茨城も概ね前年並の入荷量となる見通し。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回るが平年並、価格は安値の前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	25年	4,751	95	84	91	111	群馬 43%
	26年	4,987	82	112	89	59	茨城 23%
	27年	4,364	135	152	138	120	長野 18%
	28年	4,101	174	121	183	219	愛知 10%
	29年	4,818	65	67	54	75	北海道 5%
	5ヵ年平均	4,604	108	105	110	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,500	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城などから入荷する。後半に入った群馬、長野は中旬まで順調な入荷を見込む。中旬からスタートする茨城や愛知も今のところ順調で、台風等の被害がなければ安定した入荷が予想される。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	25年	263	630	700	555	656	岐阜 63%
	26年	288	558	563	562	556	愛知 25%
	27年	291	587	738	650	455	茨城 5%
	28年	186	894	1,093	1,002	764	長野 3%
	29年	274	618	653	545	725	静岡 2%
	5ヵ年平均	260	640	694	630	612	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	200	880	950	900	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に、愛知、茨城などから入荷する。岐阜は台風によりハウスが損壊するなどの被害を受け、入荷量は少なくなる見込み。愛知、茨城は9月上旬の台風被害は少なく、概ね順調な入荷となるか。</p> <p>入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月28日現在

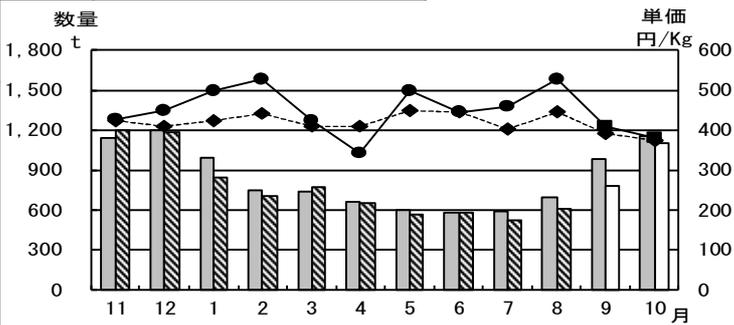
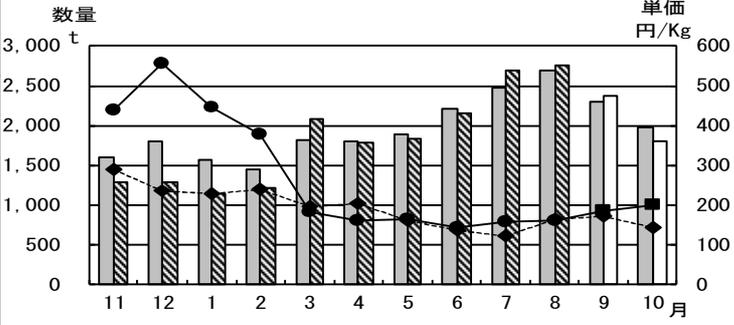
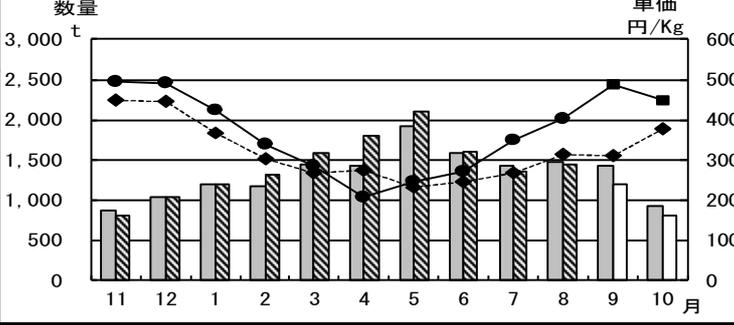
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	15,123	68	81	49	72	長野 76%
	26年	14,875	54	79	52	38	茨城 13%
	27年	14,551	85	88	108	64	北海道 7%
	28年	14,716	143	119	144	158	群馬 4%
	29年	17,700	55	54	46	64	
	5ヵ年平均	15,393	80	83	78	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	16,000	85	100	85	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、茨城などから入荷する。産地では高温干ばつによる影響を脱し、生育は平年並に回復。長野は前進したまま終盤に入り、上旬はやや高値となるも、中旬以降は茨城が量を増やし値を下げる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値となった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
さい							
キヤベツ	25年	15,649	90	84	83	103	群馬 48%
	26年	17,085	82	114	86	54	千葉 18%
	27年	16,805	137	162	141	108	茨城 16%
	28年	16,686	166	114	174	205	岩手 9%
	29年	18,246	56	59	48	63	長野 4%
	5ヵ年平均	16,894	105	106	106	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	17,000	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に、千葉、茨城からの入荷となる。千葉、茨城は概ね生育順調で量を増やす。一部、播種期の天候不順により生育遅れ等が懸念されるが、大勢には影響しないか。台風の影響はまだ不明。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回るも平年を下回る見込み。</p>					
さい							
ほうろ	25年	1,360	567	579	504	610	群馬 44%
	26年	1,668	478	473	481	480	茨城 18%
	27年	1,678	490	648	519	381	栃木 15%
	28年	994	851	1,172	896	672	千葉 5%
	29年	1,468	507	484	413	667	岩手 5%
	5ヵ年平均	1,434	555	633	538	546	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	500	570	470	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、栃木などから入荷する。これまでの台風により一部の産地では施設に被害が出ているが、主力の関東は施設、露地ともに生育順調で、ピークを迎え入荷は潤沢。相場は弱くなると見込まれる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
さい							

名古屋市中央卸売市場

9月14日現在

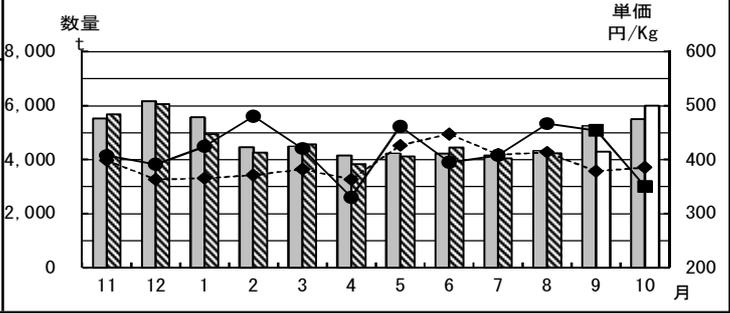
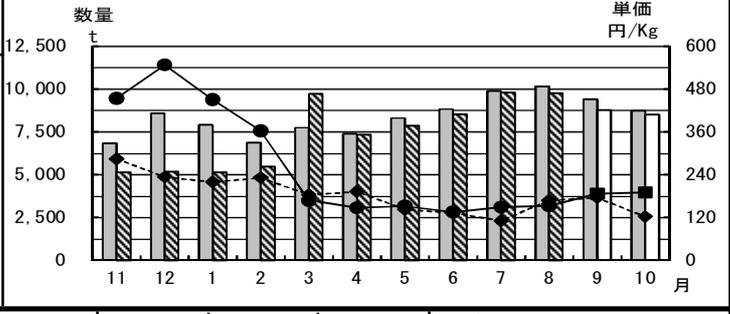
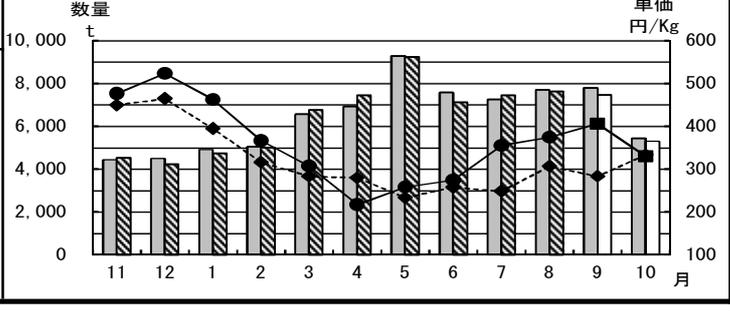
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	1,160	336	334	321	358	北海道 47%
	26年	1,372	287	294	286	286	長野 19%
	27年	1,315	352	408	372	306	富山 8%
	28年	1,135	450	472	436	458	愛知 5%
	29年	1,157	374	362	342	423	秋田 5%
	5ヵ年平均	1,228	357	367	352	360	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,100	380	380	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長野、北陸産地を中心に、各地から入荷する。北海道は函館などが台風被害を受けており、長野も夏の高温干ばつによる品質低下が見られる。全体として入荷量は少なめとなるか。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
しそ	25年	1,803	181	175	175	207	長野 52%
	26年	2,409	114	125	110	122	茨城 39%
	27年	1,791	252	350	252	184	兵庫 6%
	28年	1,480	421	593	431	318	群馬 2%
	29年	1,981	145	105	105	254	愛知 1%
	5ヵ年平均	1,893	207	221	199	210	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	200	200	200	200	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、茨城を中心に入荷する。産地が順次終了に向かう長野は台風被害が若干見られるものの、概ね平年並の入荷を見込む。後続の茨城は今のところ順調だが、やや遅れ気味となっている。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	25年	1,005	355	304	265	522	群馬 35%
	26年	983	296	242	294	370	長野 19%
	27年	1,219	293	302	310	273	山梨 15%
	28年	880	545	441	703	494	北海道 12%
	29年	929	377	250	258	894	埼玉 6%
	5ヵ年平均	1,003	366	301	357	461	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	800	450	450	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、長野、山梨などから入荷する。長野の夏秋作は台風や朝晩の冷え込みが強い影響で、例年より切り上がりが見込み。後続の群馬、山梨は順調だが、数量の見通しは少なめで全体的に高値となるか。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	6,389	296	292	278	314	北海道 20%
	26年	6,244	244	265	248	223	青森 20%
	27年	6,248	324	385	344	256	秋田 15%
	28年	5,873	428	485	424	394	茨城 8%
	29年	5,488	385	351	356	439	山形 8%
	5ヵ年平均	6,048	333	354	328	321	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,000	350	400	330	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、青森、秋田からの入荷が中心となる。北海道は台風の影響で入荷を減らすも他産地は概ね生育順調で不足感はない。東北各産地の収穫作業が本格化する中旬以降は潤沢に出回り相場は落ち着く。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
							
しそ	25年	8,740	169	162	161	183	茨城 56%
	26年	10,287	108	115	99	111	長野 30%
	27年	7,865	256	334	251	192	群馬 6%
	28年	6,556	398	512	409	301	栃木 5%
	29年	8,710	122	90	88	212	千葉 1%
	5ヵ年平均	8,432	196	222	186	191	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,500	190	210	180	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。長野の切り上がり早く、上旬は現状の価格が維持される見通しだが、遅れている茨城産がピークに入れば、価格は下がると見込まれる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
							
きゅうり	25年	5,810	330	276	260	480	埼玉 27%
	26年	5,956	272	206	287	336	群馬 27%
	27年	6,601	264	269	276	250	福島 15%
	28年	5,312	497	407	612	457	茨城 11%
	29年	5,432	333	230	242	634	宮城 4%
	5ヵ年平均	5,822	334	275	330	423	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	5,300	330	320	320	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬、福島からの入荷となる。入荷物は、高温干ばつで生育が遅れている関東産地と、順調な生育の北関東以北の産地が混在する。上中旬は順調な入荷が続き、後半は落ち着くと見込まれる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は平年及び前年並となる見込み。</p>					
							

名古屋市中央卸売市場

9月14日現在

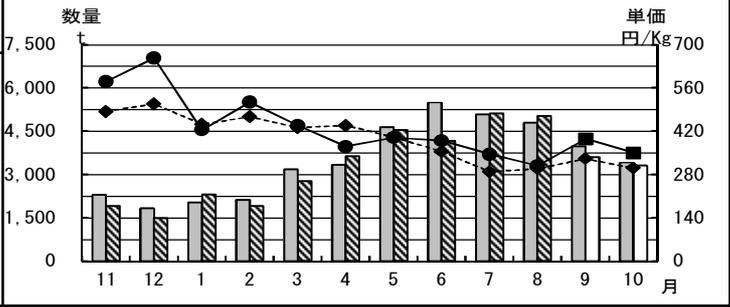
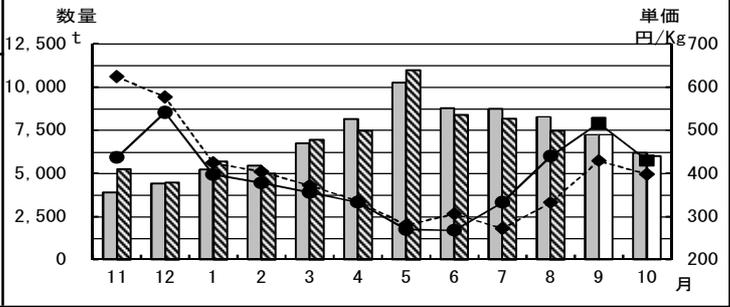
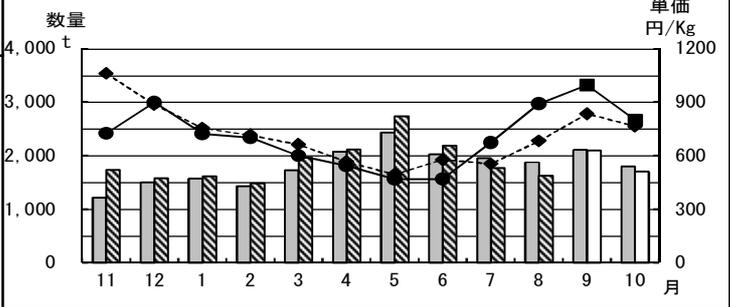
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	595	304	297	264	390	愛知 33%
	26年	691	246	192	237	334	山梨 21%
	27年	645	359	356	395	344	熊本 20%
	28年	678	370	379	342	393	徳島 13%
	29年	636	283	293	238	360	群馬 5%
	5ヵ年平均	649	312	297	291	362	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	580	360	380	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、熊本、山梨などから入荷する。9月上旬の台風で中旬に入荷量が落ち込み、高値推移している。果実は擦れ果などの品質低下が目立つ。10月は若干回復すると思われるが、平年より入荷減となる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ト マ ト	25年	1,086	453	601	377	420	岐阜 36%
	26年	1,283	374	424	348	351	愛知 19%
	27年	1,117	463	472	519	423	北海道 18%
	28年	1,032	549	490	523	649	熊本 9%
	29年	1,185	401	418	405	384	千葉 8%
	5ヵ年平均	1,141	444	474	426	434	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,060	500	550	500	470	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜、愛知、北海道などから入荷する。岐阜などの夏秋産地は台風の被害もあり、入荷は少なくなる見通し。関東などの抑制産地も猛暑の影響で作柄は良くなく、価格は高値推移となるか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	25年	376	875	985	941	758	北海道 61%
	26年	411	805	987	793	661	愛知 18%
	27年	404	913	985	910	879	熊本 13%
	28年	362	1,051	1,031	1,007	1,132	茨城 4%
	29年	470	816	832	809	811	長野 2%
	5ヵ年平均	405	886	953	892	834	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	400	850	900	850	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に愛知、熊本などから入荷する。北海道を始めとした夏秋産地が終盤に入り、上旬は荷がなくなる予想。秋冬作の入荷は中旬から始まり、下旬には数量も増えて価格は落ち着くか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

9月28日現在

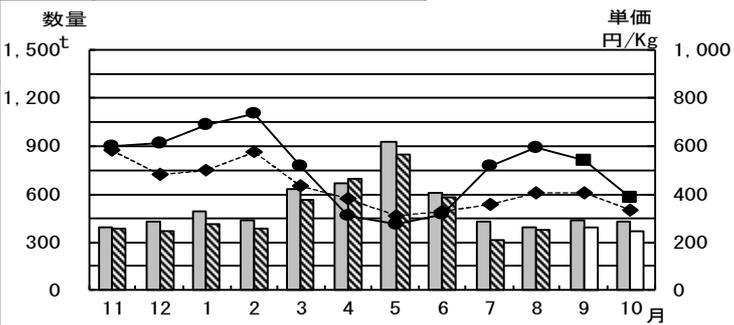
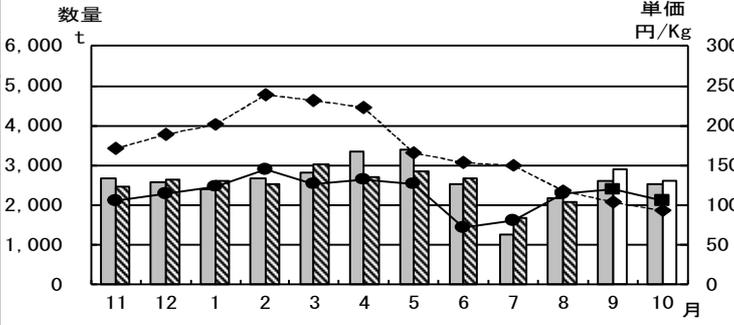
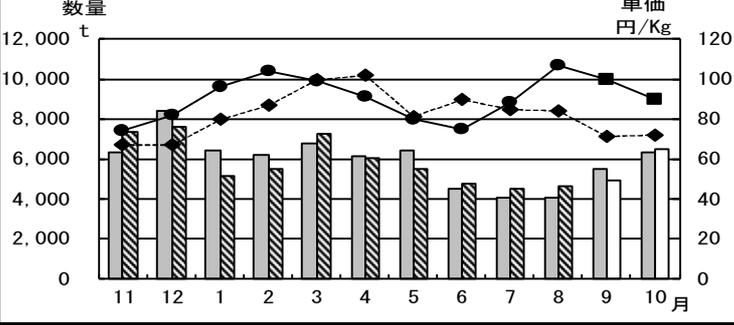
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	3,138	332	294	267	475	高知 35%
	26年	3,603	260	221	247	316	群馬 21%
	27年	3,321	359	361	394	330	栃木 21%
	28年	3,405	399	388	391	418	茨城 14%
	29年	3,408	300	262	249	429	福岡 3%
	5ヵ年平均	3,375	329	304	309	392	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,300	350	350	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、栃木、群馬からの入荷が中心となる。高知は立て続けに台風が来襲しており今後の品質、入荷ともに懸念が残る。関東産地は9月上旬の台風の影響も収束し、平年並の出荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
マ ト	25年	6,585	428	532	338	429	千葉 20%
	26年	7,109	338	364	315	331	福島 15%
	27年	6,242	452	495	482	396	茨城 14%
	28年	5,771	545	463	531	659	青森 9%
	29年	6,169	398	400	409	385	北海道 8%
	5ヵ年平均	6,375	428	449	410	434	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,000	430	450	450	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城からの入荷が中心となり東北産地は終盤を迎える。主力となる抑制栽培で、高温による着果不良や樹勢低下が散見される。入荷は前半減り中旬以降は回復すると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ト	25年	1,748	765	868	812	654	茨城 21%
	26年	1,884	724	930	676	597	北海道 16%
	27年	1,784	873	931	846	840	千葉 11%
	28年	1,531	989	942	951	1,081	愛知 10%
	29年	1,796	765	743	783	768	青森 9%
	5ヵ年平均	1,749	817	881	808	778	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,700	800	800	800	800	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、北海道、千葉、愛知からの入荷が中心となる。北海道は低温により着色が遅れており、なかなか入荷が増えてこない。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

9月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	435	386	453	398	388	茨城 32%
	26年	409	306	335	346	338	北海道 24%
	27年	498	374	393	385	380	岩手 15%
	28年	325	627	515	664	697	高知 9%
	29年	428	335	335	323	457	鹿児島 8%
	5ヵ年平均	419	395	398	418	436	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	365	385	400	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城、北海道、岩手を中心に入荷する。北海道、岩手などの夏秋産地は中旬に終了する見込み。茨城は台風等により入荷量は例年より少ないか。鹿児島などの九州産は台風被害もなく上旬には始まる見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
ばれいしょ	25年	2,962	95	114	95	89	北海道 100%
	26年	2,984	85	92	89	82	
	27年	2,987	104	111	109	98	
	28年	3,218	146	155	152	141	
	29年	2,545	93	96	91	91	
	5ヵ年平均	2,939	106	114	112	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,600	105	110	105	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からほぼ全量を入荷する。北海道の作付面積はやや減少している。また、天候不順の影響で若干不作傾向にあるが、10月の市場入荷は順調と思われる。玉は小玉傾向。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
たまねぎ	25年	4,866	97	102	102	104	北海道 99%
	26年	6,499	75	79	79	76	
	27年	6,501	73	80	77	73	
	28年	6,449	76	83	76	72	
	29年	6,339	72	73	72	72	
	5ヵ年平均	6,131	78	84	80	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,500	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からほぼ全量を入荷する。階級は小玉が少なく、L大中心の玉流れとなる。収穫も概ね順調で、安定した入荷を見込む。価格は入荷量の増加に伴い、下降傾向となるか。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

9月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	1,939	356	364	377	331	茨城 61%
	26年	1,977	269	257	262	288	岩手 20%
	27年	2,033	333	361	315	319	福島 9%
	28年	1,799	545	438	584	591	高知 3%
	29年	1,929	298	265	254	401	青森 2%
	5ヵ年平均	1,935	357	336	354	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	400	420	390	390	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、岩手からの入荷が中心となる。東北産地の切り上がりが早まり、中旬以降は量を減らす。その穴を埋めるように茨城の施設物が入るが、生育良好とは言えず、入荷量は平年を下回ると見込まれる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値となった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	25年	8,747	109	119	107	101	北海道 98%
	26年	8,133	92	94	91	91	青森 1%
	27年	7,564	109	113	109	104	
	28年	7,584	155	155	159	152	
	29年	7,443	97	97	98	95	
	5ヵ年平均	7,894	112	115	112	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は長雨の影響から小玉傾向となっており、収穫時の天候も安定せずに収穫遅れが散見される。貯蔵による調整が入るため地震による物流への影響は読みにくい。 入荷量は前年並となり、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	10,820	107	107	105	108	北海道 96%
	26年	11,839	82	85	81	80	中国 3%
	27年	10,916	78	81	77	76	
	28年	10,726	85	92	85	80	
	29年	10,691	77	76	76	77	
	5ヵ年平均	10,998	86	88	85	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,500	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。一部の産地で長雨や低温等により小玉傾向となる。また地震や台風等の影響で一次的に滞っていた物流の反動で荷が集中し、上旬の入荷は増量すると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回るも安値基調の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

9月19日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	12,253	274	301	270	261	長野 20%
	26年	12,729	257	287	263	234	和歌山 16%
	27年	11,818	279	306	280	264	三重 14%
	28年	10,515	330	348	331	320	フィリピン 11%
	29年	10,895	302	338	306	280	熊本 8%
	5ヵ年平均	11,642	287	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	10,300	300	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、かきなどが主な品目となる。猛暑による小玉化や切り上がりの前進化で、入荷減を予想する品目が多い。また、9月上旬の台風で落果や擦れ傷が目立つほか、台風24号による被害も懸念される。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。						
み	25年	3,680	200	224	187	148	三重 48%
	26年	3,710	178	213	196	145	熊本 23%
	27年	3,553	189	200	183	189	和歌山 12%
	28年	3,360	261	257	256	264	静岡 7%
	29年	3,124	241	262	240	235	佐賀 3%
	5ヵ年平均	3,485	212	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,200	230	—	—	—	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	三重を中心に熊本、和歌山などから入荷する。台風により擦れ傷の発生や海に近い産地での塩害の話が聞かれ、入荷減と下級品の増加が懸念される。果実は小玉傾向だが、9月は雨もあり肥大が進むか。入荷量は前年をわずかに上回るが平年より少なく、価格は前年をやや下回る見込み。						
か	25年	1,918	254	256	249	275	和歌山 70%
	26年	2,171	238	271	240	225	岐阜 13%
	27年	2,322	219	253	222	208	愛知 8%
	28年	1,900	263	286	254	268	奈良 6%
	29年	2,002	228	254	221	225	三重 2%
	5ヵ年平均	2,063	239	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	240	—	—	—	
かき	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	和歌山を中心に岐阜、愛知などから入荷する。和歌山は台風21号による被害が大きく、入荷減が予想される。台風により傷果などの下級品も増えるため、減少した数量に比べて価格は上がってこないか。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

9月30日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	45,020	270	285	268	259	和歌山 13%
	26年	48,993	254	267	251	245	青森 10%
	27年	47,454	282	302	281	265	熊本 9%
	28年	42,602	328	352	322	315	長野 8%
	29年	44,293	298	326	299	274	長崎 7%
	5ヵ年平均	45,672	285	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	44,300	310	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	みかん、かき、なし、りんごを中心に入荷する。かきは生育順調で、9月上旬から販売開始。なしは気温が下がってきたことで荷動きが悪い。品目によっては台風等の影響で下位等級の発生も見込まれる。台風24号が懸念されるも、入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。						
み	25年	14,356	192	204	190	186	熊本 26%
	26年	15,121	159	175	159	150	長崎 24%
	27年	15,265	199	211	196	189	愛媛 20%
	28年	13,228	242	254	239	238	佐賀 12%
	29年	13,594	204	231	206	183	和歌山 10%
	5ヵ年平均	14,313	198	214	197	188	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	13,600	200	210	200	190	
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	熊本、長崎、愛媛などから極早生中心に入荷する。シーズンを通しては十分な数量が出る見込みだが、10月は夏期の干ばつによる小玉傾向やこれまでの台風被害が入荷量に影響すると見込まれる。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。						
か	25年	8,196	253	235	243	279	和歌山 47%
	26年	9,230	229	233	227	229	奈良 23%
	27年	10,170	212	235	215	196	新潟 9%
	28年	8,707	265	274	251	272	愛知 5%
	29年	8,952	226	241	213	227	福岡 5%
	5ヵ年平均	9,051	236	243	229	239	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	9,200	240	240	250	230	
かき	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	和歌山を中心に奈良などから入荷する。着果量は平年より多く、肥大も良好な傾向。一方、台風による擦れ果の発生で下位等級の増加が見込まれる。今後も台風が懸念されるも、入荷量は前年をわずかに上回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。						

# 切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 9月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	25年	1,566	53		
		26年	1,861	36		
		27年	1,799	45		
		28年	1,628	83		
29年		1,415	60			
5ヶ年平均		1,654	54			
30年見通し		1,500	55			
概要	愛知、三重、長野などから入荷する。高冷地産は順次終了に向かい、天候不順の影響で周年産地も出荷量は少なめに推移すると思われる。業務の動きにもよるが、白菊中心に堅調な相場展開が予想される。					
小 ぎ	実績	25年	849	36		
		26年	818	29		
		27年	720	34		
		28年	621	53		
29年		669	31			
5ヶ年平均		735	36			
30年見通し		650	35			
概要	愛知、奈良、長野、埼玉などから入荷する。猛暑や台風等の影響により短幹傾向で、上位等級は少なめ。高冷地産も順次終了し、入荷量も多くはないと思われる。					
カー ネ ー シ ョ ン	実績	25年	1,314	35		
		26年	1,185	36		
		27年	1,262	43		
		28年	1,305	46		
29年		961	43			
5ヶ年平均		1,205	41			
30年見通し		1,000	45			
概要	長野、北海道、愛知を中心に入荷する。今年は高温が続いたため、暖地産は2週間程遅れている。高冷地産は天候が悪いことから出荷本数が少なく、品薄傾向になる。					
か す み	実績	25年	110	112		
		26年	126	92		
		27年	89	151		
		28年	75	165		
29年		100	120			
5ヶ年平均		100	123			
30年見通し		90	130			
概要	長野、福島、高知、熊本から入荷する。和歌山は8月の台風の影響でやや遅れる。入荷量がやや少ない時もあるが、深刻な問題ではなさそう。業務活発で引き合いは強い。					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	25年	412	144	
		26年	383	147	
		27年	338	162	
		28年	310	182	
		29年	295	167	
	5ヶ年平均		348	159	
	30年見通し		350	160	
概要	<p>オリエンタルは新潟、高知、九州を中心に入荷する。順調な入荷見込みで、品質はかなり良くなってくる。LAは埼玉、高知、新潟から入荷し、前年並の入荷見込み。鉄砲は愛媛、兵庫、中旬からは高知、鳥取から入荷する。少ない入荷となる見込みで、業務次第であるが強い相場の動きとなりそう。</p>				
洋らん	実績	25年	1,103	68	
		26年	556	72	
		27年	543	69	
		28年	588	75	
		29年	471	64	
	5ヶ年平均		652	70	
	30年見通し		550	70	
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島国内物や輸入物などが入荷する。高温の影響からは徐々に回復傾向にあるが、台風によりハウスなどに被害を受けた物は今しばらく出荷が遅れる見通し。</p>				
ばら	実績	25年	997	71	
		26年	974	73	
		27年	860	80	
		28年	833	86	
		29年	884	73	
	5ヶ年平均		910	76	
	30年見通し		850	80	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。夏の高温の影響もあり、9月出荷分が多少遅れて、10月に出てくる分もある。出荷量は安定してくる見込みで徐々に上位等級も増えてくる。ブライダル需要が期待される。</p>				
枝も	実績	25年	1,588	46	
		26年	1,626	45	
		27年	1,531	48	
		28年	1,567	50	
		29年	1,488	48	
	5ヶ年平均		1,560	48	
	30年見通し		1,550	48	
概要	<p>長野、岐阜を中心に入荷する。猛暑や台風の影響で相対的に数量は多くなく、季節物やアレンジ関係の花材は堅調とみられる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	25年	18,404	817	
		26年	18,287	778	
		27年	16,989	975	
		28年	20,346	769	
		29年	16,932	883	
	5ヶ年平均		18,192	840	
	30年見通し		17,000	882	
概要	<p>入荷量は前年並か。前年と同様に原木の輸入減少と作付品目変更などの影響が大きい。サイズは中鉢の7～8号と4～5号サイズが中心で、大鉢は少ない見込み。前年10月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(45.0%)、2位鹿児島(15.2%)、3位沖縄(12.1%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	25年	56,852	378	
		26年	42,802	370	
		27年	47,667	372	
		28年	33,336	420	
		29年	42,055	396	
	5ヶ年平均		44,542	385	
	30年見通し		42,000	395	
概要	<p>全体の生産量は前年並と思われる。前年以上に生産者によっては注文が集中することが予想され、競売での販売量が減少する見込み。価格は運賃等のコスト増に伴い、上がる可能性がある。前年10月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(74.0%)、2位埼玉(15.4%)、3位栃木(6.0%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	25年	635,015	181	
		26年	603,249	181	
		27年	641,497	184	
		28年	672,626	184	
		29年	616,535	174	
	5ヶ年平均		633,784	181	
	30年見通し		616,000	174	
概要	<p>入荷量は前年並か。前年同様、ガーデンシクラメンの入荷が大半を占める見込み。4号以上のものは、記録的な猛暑の影響も有り、生育に若干遅れが出るか。今後の気温次第ではあるが、初旬のガーデンシクラメンは引き合いが出る見込み。前年10月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位長野(34.3%)、2位愛知(29.5%)、3位北海道(10.6%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	25年	11,167	2,090	
		26年	9,021	2,040	
		27年	9,082	1,937	
		28年	11,112	1,549	
		29年	2,902	1,826	
	5ヶ年平均		8,657	1,891	
	30年見通し		2,900	1,828	
概要	<p>入荷量は前年並か。生産者の減少、単価の伸び悩みの影響がある。近年、秋の高温もあり、需要は寒くなってきた11月下旬、ギフトシーズンの12月になっている。この需要期を逃さないように長期予報を確認し、山下げの準備をしていただきたい。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(49.5%)、2位高知(23.3%)、3位長野(9.1%)となっている。</p>				
カランコエ	実績	25年	50,183	183	
		26年	46,552	183	
		27年	51,897	176	
		28年	43,730	202	
		29年	39,353	180	
	5ヶ年平均		46,343	185	
	30年見通し		40,000	178	
概要	<p>入荷量は前年並か。猛暑の影響で開花が遅れているため、盆明け出荷予定の商品が9月にずれ込んだ。価格面では、2.5号～3.5号ポットサイズは比較的安定している。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位埼玉(47.2%)、2位岐阜(36.3%)、3位茨城(7.2%)となっている。</p>				
パンジー	実績	25年	868,159	44	
		26年	788,490	45	
		27年	712,658	52	
		28年	613,807	52	
		29年	553,234	46	
	5ヶ年平均		707,270	48	
	30年見通し		540,000	46	
概要	<p>入荷量は前年よりわずかに減少か。暑さによる影響から、播種の遅れ、生育不良がみられ、産地により10月前半の出荷は減少する見込み。</p> <p>前年10月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで、1位愛知(38.4%)、2位奈良(16.7%)、3位福井(10.2%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.544  
平成30年10月発行  
農林水産部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434